



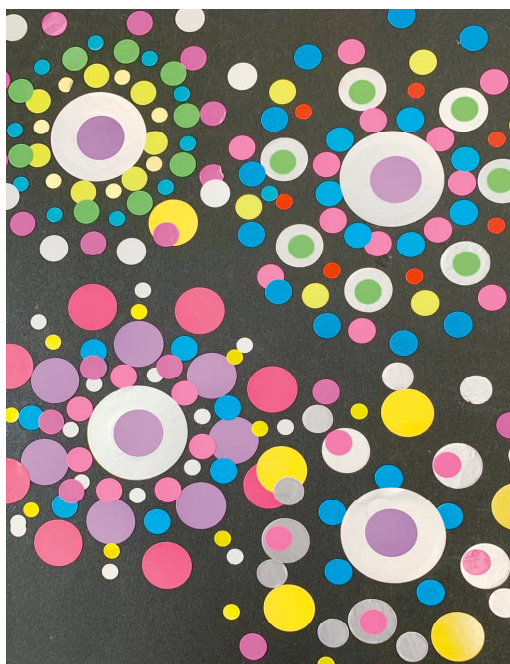
直江桃子 作



新田哲也 作



吉岡真澄 作



松原一江 作

スポット

- ・ 令和5年度事業計画
- ・ 令和4年度事業報告
- ・ 研修報告
- ・ 我が家のペット自慢
- ・ 新人紹介

第85号 二〇二三年九月十一日発行

発行／編集 社会福祉法人あかつきコロニー

〒二〇八〇〇三三 東京都武蔵村山市伊奈平一六四一

☎〇四二一五六〇七八四〇

http://www.akatuki.or.jp Email:soumu@akatuki.or.jp

瑞穂町福祉作業所さくらで行っている創作活動での作品です。

就労継続支援B型あかつき授産所 就労継続支援B型・就労定着支援スペース・まどか 就労継続支援B型瑞穂町福祉作業所さくら
 瑞穂町心身障害者(児)福祉センターあゆみ 武蔵村山市障害者就労支援センターとらい 瑞穂町障害者就労支援センター 指定特
 定相談支援事業・指定障害児相談支援事業あかつきコロニー相談支援センター

令和5年度事業計画

【はじめに】

昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻は未だに終息の兆しは見られない。この侵攻による世界各国の影響は大きく、新型コロナウイルスによるパンデミックに更に追い打ちをかける形で社会生活に打撃を与えている。次々に見舞われる災害等様々な問題に、私達は今まさに不安定な世界情勢に晒されている事を痛感する。有事に於いて障がいを持つ方々は特に困難な状況に置かれ易い。誰もが安心して暮らせる社会を目指すにはその前提として平和がある。1日も早い平和を願うばかりである。そのような中でも、私達の日々の支援は変わらず続いていく。今後も利用される方が安心してサービスを受けられるよう丁寧な支援を心がけていきたい。

【福祉事業活動】

大幅な定員割れによる赤字状態

が続いていたセルフあかつきを令和4年度末にやむを得ず廃止した。法人の経営状況を鑑みての判断であつたが、光熱費をはじめとする

物価高騰による事業費圧迫、東京都サービス推進費の受給要件の見直し等厳しい状況に立たされていることに変わりはない。引き続き各事業所では支出費用の見直しや増収に向けた対策等を講じ、経営面の改善を図っていく。

法人施設の建て替えに必要な課題解消に向け動いていく。今年度中に東京都との協議を実施する。

職員の資質向上を目指す。人事考課を通じて職員のキャリアアップを図る。新人職員が法人の一員として力を発揮できるよう教育・支援体制を整え職場定着を図る。次世代の管理職職員の育成を進める。研修委員会が中心となり内部研修を実施する。

利用者が安心して利用できる施設を目指す。虐待防止マネジャ

ーを中心に、虐待の予防、虐待を見逃さない体制を浸透させる。虐待防止マネジャー会議及び虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会を開催する。

昨年度導入した支援システムの本格稼働に向け各職員共取り組む。計画作成、記録から請求業務まで一体的な管理ができるようにする。

BCPマニュアルに基づいた訓練を実施する。

【就労支援事業活動】

法人設立初期から続けてきたオイルエレメント組立作業から撤退する。数年前から進めている印刷

事業の縮小もあり、就労支援事業は大きな転換期にある。他の事業の受注増や新規事業の獲得等に努めていく。一方で前年度までセルフあかつきの就労訓練として取り組んできた紙おむつ給付事業（武蔵村山市との委託契約）は引き続き実施していく。事業の引継ぎや再編を進める中で、取引先から信用・信頼を頂けるように丁寧で確実な仕事を心掛けていく。

就労継続支援B型における目標平均工賃をあかつき授産所

26,500円、スペース・まどか15,300円、瑞穂町福祉作業所18,000円とする。

就労継続支援B型では工賃向上への取り組みの一方で、作業を通して利用者のやりがいや意欲を支え、可能性を伸ばすことも重要な支援である。その視点と工夫を以て職員は就労支援事業に取り組む。

利用者の一般就労へ向けた取り組みを実施する。就労支援事業を通して利用者の就業スキルと就労意欲の向上を図り、一般就労を希望する利用者に対しては関係機関等と連携を図り就労支援を行う。

【地域生活】

瑞穂町福祉作業所は、利用者の高齢化に伴い事業所環境や支援方法の見直しを行う。また作業以外に社会参加の機会として地域交流事業へも積極的に参加する。

瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみでは、介助を伴う重度障がい者の利用される地域活動支援センターは、様々な活動や体験の機会を提供し個別支援計画に基づいた支援を実施する。また、障がい児の利用されるタイムケアは、

個々の成長を促す上で様々な体験機会が大切と考えており、提供するプログラムの内容を再確認し特徴のある支援を実施する。

あかつきコロナ相談支援センターでは、サービス利用を希望する利用者の地域生活の支援に向け、ニーズの把握と課題を整理し、適切なサービスに繋げていく。

武蔵村山市、瑞穂町より委託されている障害者就労支援センターでは、登録者の就労に必要となる支援を行う。就職実績を重ねると同時に就労定着に力を入れる。

【地域福祉】

地域の障がい者福祉の向上に尽力する。自立支援協議会や障害支援区分審査会へ委員を派遣し、自立支援協議会の各部会にも積極的に参加する。地域の関係団体等と連携し、地域の障がい者・児の生活がより豊かとなるよう福祉サービスの充実を図っていく。

また、地域貢献事業として、地域子供交流会を実施する他、瑞穂町に於いては社会福祉協議会と連携し、相談支援の窓口を開設していく。

令和5年度あかつきコロニー予算書

(白) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

法人全体

(単位：千円)

勘定科目			本年度予算	前年度予算	差異
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	71,600	82,040	△ 10,440
		障害福祉サービス等事業収入	330,110	334,841	△ 4,731
		生活保護事業収入	500	600	△ 100
		その他事業収入	240	1,240	△ 1,000
		借入金利息補助金収入	3	10	△ 7
		経常経費寄附金収入	260	260	0
		受取利息配当金収入	14	15	△ 1
		その他の収入	457	860	△ 403
		事業活動収入計（１）	403,184	419,866	△ 16,682
	支出	人件費支出	271,565	272,005	△ 440
		事業費支出	32,829	39,340	△ 6,511
		事務費支出	25,694	32,979	△ 7,285
		就労支援事業支出	71,600	75,670	△ 4,070
		支払利息支出	4	12	△ 8
その他の支出		200	200	0	
事業活動支出計（２）		401,892	420,206	△ 18,314	
事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）		1,292	△ 340	1,632	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	3,137	△ 3,137
		設備資金借入金収入	0	0	0
		その他の施設整備等による収入	0	0	0
		施設整備等収入計（４）	0	3,137	△ 3,137
	支出	設備資金借入金元金償還支出	792	792	0
		固定資産取得支出	0	6,703	△ 6,703
		その他の施設整備等による支出	0	8	△ 8
		施設整備等支出計（５）	792	7,503	△ 6,711
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）		△ 792	△ 4,366	3,574
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	3,000	△ 3,000
		拠点区分間繰入金収入	4,000	15,938	△ 11,938
		サービス区分間繰入金収入	3,693	4,565	△ 872
		その他の活動による収入計（７）	7,693	23,503	△ 15,810
	支出	積立資産支出	500	500	0
		拠点区分間繰入金支出	4,000	15,938	△ 11,938
		サービス区分間繰入金支出	3,693	4,565	△ 872
		その他の活動による支出計（８）	8,193	21,003	△ 12,810
	その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）		△ 500	2,500	△ 3,000
予備費支出（１０）		0	32	△ 32	
当期資金収支差額合計（１１）＝（３）＋（６）＋（９）－（１０）		0	△ 2,238	2,238	

前期末支払資金残高 (12)	0		0
当期末支払資金残高 (11) + (12)	0	△ 2,238	2,238

令和4年度事業報告

令和4年度末を以て武蔵村山市

内唯一の就労移行支援事業所だったセल्पあかつきを閉鎖した。平成9年に身体障害者通所授産施設として開設後、平成19年に就労移行支援事業所へ体系移行、平成30年には就労定着支援事業を開始した。就労移行支援事業所へ移行してからこれまで多くの就職者を輩出してきた。就労プログラ

ムにも定評があり企業や関係機関からの信頼も厚かったが、大幅な定員割れによる赤字状態が続いた。利用者の就労準備性を高め一般企業へ送り出すという事業所本来の役割は十二分に果たしてきたと自負している。一方で、年々悪化する運営状況に歯止めをかけることが出来なかった。市内唯一の就労移行支援事業所として何とか運営を続けたかったがこれ以上続けることは法人運営そのものを危うくするとの判断から苦しい選択となった。

【新型コロナウイルスへの対応】

感染状況の確認及び施設内での感染を防ぐことを目的に、地域の感染状況等の動向を見ながら、利用者、職員に対してPCR検査を実施した。

各事業とも継続してサービス提供ができるよう感染防止対策に努めた。一方で感染拡大により数日間の休止対応をとった事業も出た。幸いにも重症化に至ったケースはなかった。

法人施設では最初の緊急事態宣言以降、利用時間の短縮対応をとってきた。この間、職員の働き方の見直しも視野に入れながら利用時間の見直しを検討してきた。結果として、下半期よりコロナによる利用時間短縮対応を解除するとともに、通常利用時間を変更した。

【福祉事業活動】

法人全体では資金収支差額が379万円（前年度113万円）、事業活動増減差額が210万円（前年度△220万円）となった。

建替えの為の積立資産を合計50万

資金収支計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目			予 算	決 算	差 異
事業活動による収支	収 入	就労支援事業収入	82,040,000	75,465,444	6,574,556
		障害福祉サービス等事業収入	334,841,000	336,885,237	- 2,044,237
		生活保護事業収入	600,000	575,090	24,910
		その他の事業収入	1,240,000	1,000,000	240,000
		借入金利息補助金収入	10,000	7,962	2,038
		経常経費寄附金収入	260,000	319,904	- 59,904
		受取利息配当金収入	15,000	3,159	11,841
		その他の収入	860,000	784,579	75,421
	事業活動収入計(1)		419,866,000	415,041,375	4,824,625
	支 出	人件費支出	272,005,000	270,384,789	1,620,211
		事業費支出	39,340,000	36,708,046	2,631,954
		事務費支出	32,979,000	27,762,542	5,216,458
		就労支援事業支出	75,670,000	72,330,666	3,339,334
		支払利息支出	12,000	11,595	405
その他の支出		200,000	246,432	- 46,432	
事業活動支出計(2)		420,206,000	407,444,070	12,761,930	
事業活動資金収支差額(3)=(1) - (2)		- 340,000	7,597,305	- 7,937,305	
施設整備等による収支	収 入	施設整備等補助金収入	3,137,000	2,785,000	352,000
				1,540,000	- 1,540,000
				48,422	- 48,422
		施設整備等収入計(4)	3,137,000	4,373,422	- 1,236,422
	支 出	設備資金借入金元金償還支出	792,000	792,000	
		固定資産取得支出	6,703,000	9,884,700	- 3,181,700
		その他の施設整備等による支出	8,000	8,000	
		施設整備等支出計(5)	7,503,000	10,684,700	- 3,181,700
	施設整備等資金収支差額(6)=(4) - (5)		- 4,366,000	- 6,311,278	1,945,278
その他の活動による収支	収 入	積立資産	3,000,000	3,000,000	
		その他の活動収入計(7)	3,000,000	3,000,000	
	支 出	積立資産支出	500,000	500,000	
		その他の活動支出計(8)	500,000	500,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7) - (8)		2,500,000	2,500,000	
	予備費支出(10)		32,000		32,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9) - (10)		- 2,238,000	3,786,027	- 6,024,027	
前期末支払資金残高(12)				119,755,859	- 119,755,859
当期末支払資金残高(11)+(12)			- 2,238,000	123,541,886	- 125,779,886

円計上した。

障害福祉サービス等事業収入は前年度より1,334万円増額した。このうち自立支援給付費収入が前年度比681万円増となった。前年度に大きく落ち込んだ部分が回復されたことで増額幅が大きくなっている。(参考：自立支援給付費収入は、昨年度比で295万円の増額)

ただ、ここに至るまでの物価高騰や建替え資金の課題もあり厳しい状況は変わらない。利用者の高齢化、重度化等が進む中で利用率の確保はこの事業所に於いても大きな課題となっている。

対策として利用者確保に向け取り組みができたが思うような効果は出せなかった。殊にセルフあかつきの経営状況は深刻で他の事業所による赤字補填も困難となりセルフあかつきは今年度末にて廃止とした。

建替えのための東京都との協議に向け必要な準備を進めた。方向性もある程度は固めることができたが解決すべき課題は残したままとなった。

正規職員に対し人事考課を実施し職業人としての意識、資質の向上を図った。OJTによる職員育成を実施した。研修委員会が企画し

内部研修を実施した。9月に「虐待と身体拘束」、2月に「感情労働の視点から学ぶ福祉職のメンタルヘルス入門講座」を開催した。また、短時間で受講可能なオンラインによる視聴型研修に登録し、毎月決めたテーマを全ての職員が講習を受講した。

虐待防止マネジャー会議を2回、虐待防止委員会を3回実施し、法人内部における虐待リスクの確認や分析、虐待を生まない体制について話し合いの場を設け、虐待防止に向けた取り組みを行った。この他に身体拘束適正化検討委員会を4回開催(内2回は虐待防止委員会と併せて開催)し、身体拘束実施時の条件や対応について検討し職員間の認識の擦り合わせを行った。

また、外部講師を招いて全職員に対して、虐待及び身体拘束にかかる研修会をオンラインで実施した。

BCPマニュアル作成委員会を立ち上げ、自然災害発生時及び感染症発生時のBCPマニュアルを策定した。

民間企業向けのIT導入補助金を活用し支援システムを導入した。本格活用に向け学習会を実施、請求業務は可能な状態とした。

事業活動計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目			当年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動増減の部	収 益	就労支援事業収益	75,465,444	75,346,882	118,562
		障害福祉サービス等事業収益	336,885,237	323,548,005	13,337,232
		生活保護事業収益	575,090	396,340	178,750
		その他の事業収益	1,000,000		1,000,000
		経常経費寄附金収益	319,904	325,963	- 6,059
		サービス活動収益計(1)	414,245,675	399,617,190	14,628,485
	費 用	人件費	270,184,789	266,051,085	4,133,704
		事業費	36,708,046	33,995,795	2,712,251
		事務費	27,762,542	27,017,614	744,928
		就労支援事業費用	73,973,663	73,413,048	560,615
減価償却費		9,091,803	5,547,161	3,544,642	
国庫補助金等特別積立金取崩額		- 4,498,559	- 3,955,215	- 543,344	
サービス活動費用計(2)		413,222,284	402,069,488	11,152,796	
サービス活動増減差額(3)=(1) - (2)		1,023,391	- 2,452,298	3,475,689	
サービス活動外増減の部	収 益	借入金利息補助金収益	7,962	16,191	- 8,229
		受取利息配当金収益	3,159	47,423	- 44,264
		その他のサービス活動外収益	784,579	461,406	323,173
		サービス活動外収益計(4)	795,700	525,020	270,680
	費 用	支払利息	11,595	19,119	- 7,524
		その他のサービス活動外費用	246,432	249,138	- 2,706
		サービス活動外費用計(5)	258,027	268,257	- 10,230
		サービス活動外増減差額(6)=(4) - (5)		537,673	256,763
経常増減差額(7)=(3) + (6)		1,561,064	- 2,195,535	3,756,599	
特別増減の部	収 益	施設整備等補助金収益	2,785,000		2,785,000
		固定資産売却益	1,540,000		1,540,000
		特別収益計(8)	4,325,000		4,325,000
	費 用	固定資産売却損・処分損	25	6	19
		国庫補助金等特別積立金取崩額	3,785,000		3,785,000
		特別費用計(9)	3,785,025	6	3,785,019
特別増減差額(10)=(8) - (9)		539,975	- 6	539,981	
当期活動増減差額(11)=(7) + (10)		2,101,039	- 2,195,541	4,296,580	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		50,383,846	47,579,387	2,804,459
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11) + (12)		52,484,885	45,383,846	7,101,039
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)		3,000,000	6,000,000	- 3,000,000
	その他の積立金積立額(16)		500,000	1,000,000	- 500,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13) + (14) + (15) - (16)		54,984,885	50,383,846	4,601,039

【就労支援事業活動】

就労支援事業収入は法人全体で7,547万円となり前年度比12万円増だった。また、就労支援事業増減差額に於いては149万円の黒字となり前年度比△44万円だった。

新規事業の稼働に向けた営業活動は、体制の確保が難しく進めることが出来なかった。

就労継続支援B型における平均工賃はあかつき授産所が目標額26,000円に対して実績26,332円、スペース・まどかが目標額15,000円に対して実績15,109円、瑞穂町福祉作業所が目標額18,000円に対して実績17,913円だった。

7名の利用者を一般就労に繋げることができた。(セルプ5名、授産所2名)

【地域生活】

瑞穂町の2つの指定管理事業所(さくら、福祉センターあゆみ)に於いては地域交流事業がコロナの影響で概ね中止となったものの、開催となった事業には参加した。屋内外問わず感染拡大防止のために制限せざるを得ない活動の代わりに様々な屋内活動を企画、実施した。

瑞穂町心身障害者(児)福祉センターあゆみの障害児等タイムケア事業では、基礎体力、体感力を高める取り組みとしてプログラムにフラダンスを取り入れた。

あかつきコロナ相談支援センターは、主任相談支援専門員を配置し更なる支援力の向上に努めた。計画等の作成数は544件となった。

武蔵村山市及び瑞穂町の障害者就労支援センターに於ける就職者は52名(とらい36名、瑞穂16名)だった。一方で離職者は34名(とらい26名、瑞穂8名)だった。課題となっている就労定着では、新たな試みとして利用者向けにソーシャルスキルアップ研修を実施した。

【地域福祉】

自立支援協議会、自立支援協議会専門部会、障害支援区分審査会へ委員として参加した他、就労ネットワーク会議、精神業務連絡会、地域連携会議、社会福祉法人連絡会、生活困窮者支援会議等、地域に於ける各関係機関・団体等との会議にも参加した。

地域貢献事業のうち、予定していた地域子供交流会はコロナの影響により中止した。

貸借対照表
令和5年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	157,714,994	152,651,682	5,063,312	流動負債	43,939,034	41,805,272	2,133,762
現金預金	109,935,262	108,257,794	1,677,468	事業未払金	9,934,111	8,825,855	1,108,256
事業未収金	6,745,522	7,577,867	- 832,345	その他の未払金	22,151,899	22,725,157	- 573,258
未収金	38,622,237	35,196,306	3,425,931	預り金	1,877		1,877
商品・製品	173,380	577,315	- 403,935	職員預り金	411,147	351,474	59,673
原材料	1,500,694	2,153,236	- 652,542	賞与引当金	11,440,000	11,640,000	- 200,000
立替金	675,407	583,255	92,152	その他の流動負債		- 1,737,214	1,737,214
前払費用	32,492	13,123	19,369				
仮払金	30,000	30,000					
その他の流動資産		- 1,737,214	1,737,214	固定負債	792,000	1,584,000	- 792,000
固定資産	257,483,950	259,818,020	- 2,334,070	設備資金借入金	792,000	1,584,000	- 792,000
基本財産	187,710,509	194,511,961	- 6,801,452	負債の部合計	44,731,034	43,389,272	1,341,762
土地	92,920,862	92,920,862		純 資 産 の 部			
建物	94,489,647	101,291,099	- 6,801,452	基本金	156,178,608	156,178,608	
基本特定積立資産	300,000	300,000		基本金	156,178,608	156,178,608	
その他の固定資産	69,773,441	65,306,059	4,467,382	国庫補助金等特別積立金	103,012,669	103,726,228	- 713,559
構築物	2	2		国庫補助金等特別積立金	103,012,669	103,726,228	- 713,559
機械及び装置	4,126,853	2,216,468	1,910,385	その他の積立金	56,291,748	58,791,748	- 2,500,000
車輛運搬具	4	4		備品購入積立金	10,184,337	10,184,337	
器具及び備品	4,291,474	4,052,118	239,356	修繕積立預金	27,838,886	30,838,886	- 3,000,000
権利	177,714	177,714		人件費積立金	2,468,525	2,468,525	
ソフトウエア	5,177,646	319,583	4,858,063	施設整備積立金	15,500,000	15,000,000	500,000
備品購入積立資産	10,184,337	10,184,337		基本特定積立金	300,000	300,000	
修繕積立資産	27,838,886	30,838,886	- 3,000,000	次期繰越活動増減差額	54,984,885	50,383,846	4,601,039
人件費積立資産	2,468,525	2,468,525		次期繰越活動増減差額	54,984,885	50,383,846	4,601,039
施設整備積立資産	15,500,000	15,000,000	500,000	(うち当期活動増減差額)	2,101,039	- 2,195,541	4,296,580
差入保証金	8,000		8,000				
長期前払費用		48,422	- 48,422	純資産の部合計	370,467,910	369,080,430	1,387,480
資産の部合計	415,198,944	412,469,702	2,729,242	負債及び純資産の部合計	415,198,944	412,469,702	2,729,242

財 産 目 録						
令和5年3月31日現在						
(単位：円)						
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—	運転資金として	—	—	109,935,262
事業未収金		—	就労支援事業収入未収金	—	—	6,745,522
未収金		—	2.3月分 訓練等給付費	—	—	38,622,237
商品・製品		—	就労支援事業商品棚卸し	—	—	173,380
原材料		—	就労支援事業材料棚卸し	—	—	1,500,694
立替金		—	3月分 水道光熱費 他	—	—	675,407
前払費用		—	保険料	—	—	32,492
仮払金		—	3月分 諸経費	—	—	30,000
流動資産合計						157,714,994
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	法人本部拠点4		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	92,920,862		92,920,862
建物	法人本部拠点7、あかつき授産所拠点1		第二種社会福祉事業、公益事業に使用	385,993,499	291,503,852	94,489,647
基本特定積立資産			基本財産として保有する	—	—	300,000
基本財産合計						187,710,509
(2) その他の固定資産						
構築物	避難用ブリッジ あかつき授産所拠点	—	第二種社会福祉事業であるあかつき授産所に使用	675,000	674,998	2
機械及び装置	四色機等 計30点	—	事業運営に使用	26,613,798	22,486,945	4,126,853
車輛運搬具	計4台	—	利用者送迎、就労支援事業用	6,426,330	6,426,326	4
器具及び備品	PC、空調設備等 計56点	—	事業運営に使用	22,335,856	18,044,382	4,291,474
権利	電話加入権	—	事業運営に使用	—	—	177,714
ソフトウェア	会計ソフト 支援システム		事業運営に使用	6,502,980	1,325,334	5,177,646
備品購入積立資産	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械等の購入・交換の目的のための積立	—	—	10,184,337
修繕積立資産	りそな銀行 村山支店	—	器具・機械・建物等の修理・修繕の目的のための積立	—	—	27,838,886
人件費積立資産	多摩信用金庫 残堀支店	—	給与及び賃金等、職員処遇に必要な経費に充てるための積立	—	—	2,468,525
施設整備積立資産	りそな銀行 村山支店	—	将来における建物建替えの目的のための積立	—	—	15,500,000
差入保証金	駐車場保証金	—	駐車場保証金	—	—	8,000
その他の固定資産合計						69,773,441
固定資産合計						257,483,950
資産合計						415,198,944
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—		—	—	9,934,111
その他の未払金		—		—	—	22,151,899
預り金		—		—	—	1,877
職員預り金		—		—	—	411,147
賞与引当金		—		—	—	11,440,000
流動負債合計						43,939,034
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—		—	—	792,000
固定負債合計						792,000
負債合計						44,731,034
差引純資産						370,467,910

研修報告

ファシリテーション研修に

参加して

あかつきコロン相談支援センター

神山 明美

東京都相談支援従事者専門コース別研修・ファシリテーション研修に参加いたしました。

この研修は①主任相談支援専門員又は、相談支援従事者研修を2回以上終了していること、②相談支援専門員として従事していること、③相談支援従事者研修に演習指導者（ファシリテーター）として参加可能なこと、以上の全てに該当することが必要な研修でした。毎年多摩地区からの参加が少なく、市内からは初めての参加となりました。

相談支援専門員の必修の研修には、初任者研修と現任研修があります。まず、初任者研修とは、相談支援専門員の資格取得のための研修となります。本人主体の理解とソーシャルワーカーとしての知識、価値と倫理・技術の理解を一体的、構造的に学ぶ研修です。次に、相談支援専門員として従事し、5年間毎に1度受ける研修が現任研修となります。地域での実践、改善点や解決策を探り、相談員として成長を図ります。今回はその

現任研修のファシリテーターとして参加することになりました。

ファシリテーションとは、人々の活動が容易にできるように支援し、上手く運ぶようにすることです。中立的な立場でチームの議論の流れを管理し、チームワークを引き出し、そのチームが最大になるように支援をし、良好な関係性を構築することです。

研修では初めに現任研修の内容を確認し、具体的なファシリテーションの役割を学びました。現任研修では、相談支援専門員自身の個別相談の振り返りをし、グループワークを行い、相談員自らの実践の課題に気づきを見出し、地域でのスーパービジョンを受けて、更なる気づきを得て、更に継続したスーパービジョンを受けられる場を構築することが目的となっています。相談員は日々の業務に追われ経験を積み重ねても、自身の振り返りの機会を得ることが難しい状況にあり、相談業務の進め方や考え方の偏りを見出すことはなかなかできません。また、グループワークでは事例検討になりがちなため、修正し、自身の気づきを得てもらうのがファシリテーションの役目となります。

この研修を受けてみて、グループ内の相談員の立場や経験も

様々であるため、他の事業所の様子や実務者仲間との交流、専門的な知識や地域性の多様さ、実情を知る上では大変勉強になりました。これまでは研修は受けるだけのものでしたが、研修の演習指導者を担わせていただけたことで、新たに見えてきたことが多くありました。受講者の方々がより多く獲得できるものがあり、理解や知識を深め、実践に繋がっていくように協力していくことが出来るようにこの後、演習指導が継続していくので、最後までしっかりと役割を果たせるように取り組みたいと思います。



工賃アップセミナーに参加して

スペース・まどか

藤澤 真司

6月29日、7月10日に工賃アップセミナーに参加してきました。工賃を高めていくにはどうしていけばいいかの視点と方法について講師から指導を受けてきました。

「就労継続支援B型の職員は、就労継続支援B型事業所は「訓練等給付」であり、利用者に対し「就労の機会」を提供し、能力向上のために必要な訓練を実施したことに対する報酬を受け取っている。」「日中活動の場」を提

供することに対する報酬ではない。」ということをしつかりと認識することから始まり、工賃向上の視点なども紹介されました。

月額工賃の目安として、グループホームで暮らすことができる金額が約十万円と仮定した場合、障害基礎年金（二級：約六万四千円）を受給していれば、月額工賃が三万五千円程度は必要になる計算です。職員は月額工賃三万五千円を目指す気持ちをもって支援に当たらなければいけないという事でした。

工賃向上の視点として戦略は「価格up：支援者時給売上が適正か？安すぎる単価で受けているか検証し、単価交渉をする」「原価管理：原価率を低減させる。仕入を見直す、ロスを減らす」「生産性向上：工程の細分化や治具の開発・利用者の訓練」「商品化開発：既存顧客へ新規商品を提供」「販路開拓：既存商品を新規顧客へ提供」「新規開拓：新規顧客へ新規商品を提供」「絞込・撤退：注力度を下げる、辞める」の7つ。戦略として単純ではあるものの単価が安いから交渉するというのではなく、職員が携わっている時給単価として安いという理由など、はつきりしたものがなければ交渉も出来ないため、作業一つが適正であるかの検証が必要になってく

る。ただ、単価だけを考えすぎて全利用者ができない作業ばかりになってしまつとそれも問題です。

「プロの目にならない」ということも大切な視点です。職員は作業に慣れていくと、この作業はこのくらいでできるというのが分かってきますし、利用者それぞれの作業能力などもわかつたつもりになってしまします。そうではなく、利用者一人一人の可能性を信じて、色々な作業に取り組んでもらい、その人の能力を引き出していくことも職員として必要なことなのです。この「プロの目にならない」ということは長く携わっている職員にとつて意外と難しいことですが、組織を活性化させるためにも自ら動いていく事や職員の異動や新規採用などを行なう事で、新たな視点を得て作業に取り組みることができたり、能力を引き出す利用者支援に繋がっていきます。

「事業（＝生産活動）」の戦略実行の土台には、「支援」と「組織」があります。その三つの切り口で、現状を正しく理解することが非常に大切です。三つの切り口にはそれぞれ6項目ありますが、平均工賃が高い事業所がどこに力を注力しているかも資料として提示されました。「事業」の項目では、「目標設定」がしっかりとした事業所は、適切な目標設定や損益



我が家の
ペット自慢

ということで、第2回目は、総務・松木千香さんの猫さんです。



お腹は白くしっぽが曲がっている茶トラの『トラ』です。最近、目の色を変えて飛びつくおやつは【またたびドーナツ!】抱っこをされることが太キライな8歳の食いしん坊です。



あかつきコロニー組織図

役員・評議員

理事

理事長

常務理事

監事

評議員

法人为本部

就労継続支援B型
あかつき授産所
(定員40名)

就労継続支援B型・就労
定着支援
スペース・まどか

特定相談支援事業・
障害児相談支援事業
あかつきコロニー
相談支援センター

武蔵村山市障害者就労
支援センター

就労継続支援B型
瑞穂町福祉作業所
さくら(定員30名)

瑞穂町心身障害者(児)
福祉センター
あゆみ

瑞穂町障害者就労支援
センター

営業部
(印刷・ウエス販売)

印刷部

作業部一課
(オイルエレメント)

作業部二課
(ウエス事業)

作業部三課
(箱折り・革製品・他)

まどか作業部
(封入作業・部品加工・
箱折り他)

地域活動支援センター
II型(定員20名)

障害児等タイムケア
(定員20名)

リサイクル選瓶作業・
箱折り・公園清掃・他

浅川 勤

川崎 忠正

栗原 康明

岩瀬 香世

古賀 博紀

田中 海之

岩瀬 成朋

鈴木 智也

五十嵐 崇

戸村 仁郎

熊谷 昌博

永井 眞

高橋 毅

鈴木 賢一

新

人

紹

介

みなさんよろしくお願ひしま〜す!!

あかつき授産所



■前職は生活介護の支援員していました。以前の経験を活かし、皆さんと一緒に頑張っていけたらと思います。
趣味は、実話に基づいた作品を見ることが好きで邦画や小説、漫画など観たり読んだりすることが多いです。
楽しく過ごしながら頑張っていきますので、宜しくお願いします。

作業部二課 秋山 茜さん



■好きな野球チームは、ライオンズです。
長所は、集中力が、あることです。
短所は、相手の顔見て、話すのが、苦手です。
これから頑張る事は、ゴルフ、オイルエレメントをがんばります。よろしくお願いします。

作業部一課 新井 聖斗さん



■福祉関係で働くのは初めてで、まだ不慣れな所ありますが明るく元気に一生懸命頑張りたいと思っています。
趣味はドライブで休日は一人で山に行ったり海に行ったりすることもあります！
これから宜しくお願いします。

作業部二課 奈良 瑛美里さん



■趣味はゲームと映画鑑賞です。
休日はランニングなどをして、リフレッシュしています。

作業部二課 広瀬 宗也さん



■4月からお世話になっております。
ひんまがった性格ですがどうかあたたかい目で見てください。
ヨロシクおねがいします。

印刷部 田中 冬夜さん



■私は6月の1日より送迎の仕事させていただいて居ります。皆様よろしくお願い申し上げます。趣味は三年位前まではスノーボードを23年位してました。今はボーリングを始めました。送迎の仕事は前もしていました。早くこの仕事に慣れるようガンバリますので宜しくお願いします。

送迎 本橋 譲二さん

スペース・まどか



■昨年の12月から入所しました。趣味は武蔵村山の湧水を汲むことと都心への小旅行へ行くことです。よろしくお願いします。

泉澤 啓介さん



■趣味は読書ですが、最近あまり読まないで未読の本がたまって雪崩を起こしています。よろしくお願いします。

工藤 幸子さん



■7月から入所しました。ここはとても働きやすいところです。
じっくり取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

中平美裕子さん

瑞穂町福祉作業所さくら



■2月20日よりさくらでお仕事しています。
わたしの好きなことは。おりがみ、ミサンガづくり、ぬりえ、ジグソーパズル、他にもピアスやプレスレット、ゆびわなどおしゃれなアクセサリーを作ることがだいすきです。どうぞよろしくおねがいします。

柳井 真奈美さん

瑞穂町就労支援センター



■始めまして。4月からお世話になっております。
まだまだ未熟ですが、これから多くの知識や経験を身につけお仕事に取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いします。

山下 智海さん

主な事柄

1月

4 P C R 検査

(さくら 5日迄)

5 新年会

(法人施設)

6 市長挨拶

10 電気設備点検

(あゆみ)

10 P C R 検査

(法人施設 11日迄)

19 床清掃

(法人施設)

28 地震避難訓練

(あゆみ タイムケア)

31 地震避難訓練

(あゆみ 地活)

2月

1 新作業場照明器具交換工事

(まどか)

P C R 検査

(さくら 2日迄)

9 研修委員会

16 P C R 検査

(法人施設 17日迄)

20 エレベータ点検

(法人施設)

22 火災避難訓練

(法人施設)

地震避難訓練

(あゆみ 地活)

25 地震避難訓練

(あゆみ タイムケア)

26 床清掃

(あゆみ)

3月

23 P C R 検査

(法人施設 24日迄)

消防設備点検

(あゆみ)

27 防災設備点検

(法人施設)

28 虐待防止・身体拘束適正

化検討委員会

4月

3 消防設備点検

(さくら)

13 虐待防止委員会

床清掃

20 点字ブロック補修工事

(法人施設)

21 地震避難訓練

(あゆみ タイムケア)

25 保護者会

(あゆみ 地活)

27 地震避難訓練

(あゆみ 地活)

30 床清掃

(あゆみ)

5月

2 研修委員会

空調設備点検

3 春季レク

(法人施設)

20 床清掃

(さくら)

22 建物老朽検査

(法人施設)

24 虐待防止マネジャー会議

(さくら)

26 エレベータ点検

(法人施設)

29 地震避難訓練

(あゆみ タイムケア)

30 地震避難訓練

(あゆみ 地活)

6月

1 監事監査

7 理事会

評議員選任・解任委員会

8 空調設備点検

10 電気設備点検、取替工事

11 床清掃

15 事業所見学会

18 瑞穂町ふれあい運動会

19 地震避難訓練

20 チラー洗浄、配管交換

23 火災避難訓練

26 評議員会・理事会

27 火災避難訓練

29 地震避難訓練

2月

2 村山特支運営連絡協議会

6 羽村特支就労支援センター

10 登録セミナー

13 精神障害者就労定着支援連

16 絡会

20 支援システム講習

26 保護者会

27 地震避難訓練

29 地震避難訓練

7月

20 床清掃

21 地震避難訓練

26 保護者会

27 地震避難訓練

(あゆみ 地活)

出張・研修

1月

6 サビ管実践研修

10 西多摩地区障害者就労支

13 援機関連絡会

16 精神業務連絡会

17 都就労意見交換会

18 武蔵村山市相談支援部会

17 精神計画養成研修

18 武蔵村山市就労支援部会

23 ゼンコロ運営委員会

26 就労ネット

23 ゼンコロ運営委員会

26 就労ネット

2月

2 村山特支運営連絡協議会

6 羽村特支就労支援センター

10 登録セミナー

13 精神障害者就労定着支援連

16 絡会

20 支援システム講習

26 保護者会

27 地震避難訓練

29 地震避難訓練

7月

20 床清掃

21 地震避難訓練

26 保護者会

サビ管実践研修

(茂木 8日迄)

10 W J 理事会

14 内部研修会

雇用連絡会

瑞穂町福祉の仕事・面接会

(五十嵐)

15 福祉車両講習会

マール行き(永井・長沼)

16 就労ネット会議

20 ゼンコロ月例会

21 武蔵村山市相談支援部会

24 人権研修

27 内部研修会

28 精神業務連絡会研修会

20 高次脳意見交換会

(藤澤)

2月

1 西多摩地区障害者就労支

援機関連絡会

3 ゼンコロ理事会・総会

(戸村)

2 安全運転管理者講習

(高橋)

8 瑞穂町地域公共交通会議

(戸村)

10 精神業務連絡会

(藤澤・富田)

